



RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

立命館大学大学院 入学試験要項

2018

Ritsumeikan University Graduate School Application Guidelines

(2018年4月入学／April 2018 Enrollment)

法学研究科

Graduate School of Law

Contents

法学研究科入学試験方式一覧	1
法学研究科理念、目的／人材育成目的／教育目標／3つのポリシー	3
博士課程前期課程	
一般入学試験	9
社会人入学試験（一般）	14
社会人入学試験（有資格者）	18
外国人留学生入学試験	22
・学内者のみ対象とした入学試験	
学内進学入学試験	27
学内進学入学試験（経営学研究科との 大学院教育相互協力にもとづく入学試験）	35
飛び級入学試験	38
博士課程後期課程	
一般入学試験	41
一般入学試験（法務博士用）	45
一般入学試験（司法試験合格者）	48
社会人入学試験	51
外国人留学生入学試験	54
・学内者のみ対象とした入学試験	
学内進学入学試験	58
出願書類	61

注 出願される方は、出願・受験・入学手続等の注意事項について記載した「大学院入学試験要項（別冊）」もあわせてご覧ください。

TOEIC®、TOEFL®は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

※TOEIC®テストは、TOEIC® LISTENING AND READINGテストへ名称変更しました。

立命館大学

法学研究科入学試験方式一覧 ○印はその項目があることを示します。

課程	入学試験方式	筆記試験	口頭試問	9月実施	2月実施	備考
前期課程	一般入学試験	○	○	○	○	
	社会人入学試験 (一般)	○	○	○	○	
	社会人入学試験 (有資格者)		○	○	○	
	外国人留学生入学試験	○	○	○	○	
後期課程	一般入学試験	○	○		○	
	一般入学試験 (法務博士用)	○	○		○	
	一般入学試験 (司法試験合格者)		○	10月実施		
	社会人入学試験		○		○	
	外国人留学生入学試験	○	○	○	○	

学内者のみを対象とした入学試験

課程	入学試験方式	筆記試験	口頭試問	9月実施	2月実施	備考
前期課程	学内進学入学試験		○	○	○	立命館大学学生対象 (早期卒業生含む)
	学内進学入学試験 (経営学研究科との大学院教育相互協力にもとづく入学試験)		○		○	経営学研究科院生対象
	飛び級入学試験		○		○	立命館大学法学部3回生対象
後期課程	学内進学入学試験		○		○	法学研究科前期課程研究コース対象

* 各入試方式の詳細は各入学試験のページを参照してください。

筆記試験での六法の使用について

筆記試験において六法の持込が許可されていますが、以下のように取り扱いを定めていますのでご留意願います。

*** 下記の六法、条約集以外は、持込不可です。**

なお、六法・条約集の貸し出しは行っておりませんので、必要な方は各自で持参願います。

(1) 持込が許可された六法、条約集であっても字句の書き込みがあれば使用できません。

* アンダーラインは可

* 付箋や資料挟み込みは不可

(2) 判例・注釈・注解・解説等が掲載されているものは使用できません。

(3) 条文のカタカナ表記をひらがな表記に改めているものは使用できません。

試験において使用が許可される六法（下記以外の六法は持込不可です。）

有斐閣：六法全書、ポケット六法

三省堂：デイリー六法

岩波書店：基本六法、セレクト六法

第一法規：新司法試験用六法、司法試験用六法、司法試験対策六法

筆記試験で「国際法」を受験される方は以下の条約集の持込を許可します。

有斐閣：国際条約集

東信堂：ベーシック条約集

立命館大学大学院法学研究科 理念、目的／人材育成目的／教育目標／3つのポリシー

1. 法学研究科の理念、目的

法学研究科は、「平和と民主主義」という本学の教學理念をふまえつつ、法学・政治学に関する高度な専門知識とその運用能力の獲得のための教育を行い、高度に法化した現代社会において、基本的人権を尊重し、豊かな学識をもって諸課題に取り組むことのできる人材を養成する。

2. 法学研究科の人材育成目的

(1)全　　体

法学研究科は、法学・政治学の研究者、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする職業分野において活躍できる人材、および法学・政治学に関する特定のテーマにおいて豊かな学識と教養を身につけた人材の養成を目的とする。

(2)博士課程前期課程

①研究コース

博士課程前期課程研究コースは、博士課程後期課程での研究および学修を視野に入れつつ、法学・政治学の研究者を育成することを目的とする。

②リーガル・スペシャリスト・コース

博士課程前期課程リーガル・スペシャリスト・コースは、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする職業分野において活躍できる人材の育成を目的とする。

③公務行政コース

博士課程前期課程公務行政コースは、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする公的な職業分野において活躍できる人材の育成を目的とする。

④法政リサーチ・コース

博士課程前期課程法政リサーチ・コースは、法学・政治学に関する特定のテーマにおいて豊かな学識と教養を身につけた人材の育成を目的とする。

(3)博士課程後期課程

博士課程後期課程は、博士課程前期課程での研究および学修を前提としつつ、法学・政治学の研究者を育成することを目的とする。

3. 法学研究科の教育目標

(1)博士課程前期課程

①研究コース

博士課程前期課程研究コースは、法学・政治学の研究者となるために必要とされる以下の知識と能力の獲得を教育目標とする。

- ア) 法学・政治学に関する高度な専門知識
- イ) 法学・政治学に関する国内外の資料を読み解く能力（資料読解能力（外国語能力を含む））
- ウ) 資料から得た情報をもとに一定の問題意識を形成し、独自性のある研究を行う能力

②リーガル・スペシャリスト・コース

博士課程前期課程リーガル・スペシャリスト・コースは、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする職業分野において活躍できる人材となるために必要とされる以下の知識と能力の獲得を教育目標とする。

- ア) 法学・政治学に関する高度な専門知識
- イ) 法学・政治学に関する資料を読み解く能力（資料読解能力）
- ウ) 法学・政治学の問題を独自の視点で分析する能力（問題分析能力）
- エ) 法学・政治学の問題に対して独自の解決を導く能力（問題解決能力）

③公務行政コース

博士課程前期課程公務行政コースは、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする公的な職業分野において活躍できる人材となるために必要とされる以下の知識と能力の獲得を教育目標とする。

- ア) 法学・政治学に関する高度な専門知識
- イ) 法学・政治学に関する資料を読み解く能力（資料読解能力）
- ウ) 法学・政治学の問題を独自の視点で分析する能力（問題分析能力）
- エ) 法学・政治学の問題に対して独自の解決を導く能力（問題解決能力）

④法政リサーチ・コース

博士課程前期課程法政リサーチ・コースは、法学・政治学に関する特定のテーマにおいて豊かな学識と教養を身につけた人材となるために必要とされる以下の知識と能力の獲得を教育目標とする。

- ア) 法学・政治学に関する高度な専門知識
- イ) 法学・政治学に関する資料を読み解く能力（資料読解能力）
- ウ) 法学・政治学の問題を独自の視点で分析する能力（問題分析能力）
- エ) 法学・政治学の問題に対して独自の解決を導く能力（問題解決能力）

(2)博士課程後期課程

博士課程後期課程は、法学・政治学の研究者となるために必要とされる以下の知識と能力の獲得を教育目標とする。

- ア) 法学・政治学に関する高度な専門知識
- イ) 自ら立てた研究計画に基づいて独創性のある研究を行い、その成果を学術論文（学術雑誌等に掲載される研究論文）にまとめる能力

4. 法学研究科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

(1)博士課程前期課程

①研究コース

本研究科は、博士課程前期課程研究コースに所属する院生に対し、研究コース科目の中から講義科目8単位、演習科目4単位、外国書講読科目8単位、特別研究科目6単位の計26単位を修得し、かつ、他の科目も含め計30単位を修得すると共に、提出した論文について修士論文の審査に合格したことをもって、同コースの教育目標が達成されたものとみなし、修士（法学）の学位を授与する。

②リーガル・スペシャリスト・コース

本研究科は、博士課程前期課程リーガル・スペシャリスト・コースに所属する院生に対し、リーガル・スペシャリスト・コース科目に指定される専門科目と特別演習科目（「特別演習1」と「特別演習2」の両方の単位を修得しなければならない）から計16単位を修得し、かつ、その他の科目（ただし、研究コース科目を除く）も含め計30単位を修得すると共に、提出した論文について修士論文の審査に合格したことをもって、同コースの教育目標が達成されたものとみなし、修士（法学）の学位を授与する。

③公務行政コース

本研究科は、博士課程前期課程公務行政コースに所属する院生に対し、公務行政コース科目に指定される専門科目と特別演習科目（「特別演習1」と「特別演習2」の両方の単位を修得しなければならない）から計16単位を修得し、かつ、その他の科目（ただし、研究コース科目を除く）も含め計30単位を修得すると共に、提出した論文について修士論文の審査に合格したことをもって、同コースの教育目標が達成されたものとみなし、修士（法学）の学位を授与する。

④法政リサーチ・コース

本研究科は、博士課程前期課程法政リサーチ・コースに所属する院生に対し、特別演習科目（「特別演習1」と「特別演習2」の両方の単位を修得しなければならない）とその他の科目（ただし、研究コース科目を除く）から計30単位を修得すると共に、提出した論文について修士論文の審査に合格したことをもって、同コースの教育目標が達成されたものとみなし、修士（法学）の学位を授与する。

＜修士論文の審査について＞

・審査基準

本研究科は、提出された論文が博士課程前期課程各コースにおける教育目標の到達を示すものと判断された場合、修士論文の審査につき合格の判定を下す。

・評価項目

上記の判断にあたっては、以下の4つの項目が評価の対象となる。

- 【1】研究課題とその意義の明確性
- 【2】研究方法の適切性
- 【3】叙述内容の論理性および体系性
- 【4】研究内容の独自性

(2)博士課程後期課程

本研究科は、博士課程後期課程に所属する院生に対し、専門科目計12単位を修得すると共に、提出した論文について博士論文の審査に合格したことをもって、同課程の教育目標が達成されたものとみなし、博士（法学）の学位を授与する。

<博士論文の審査について>

・審査基準

本研究科は、提出された論文が博士課程後期課程における教育目標の到達を示すものと判断された場合、博士論文の審査につき合格の判定を下す。

・評価項目

上記の判断にあたっては、以下の5つの項目が評価の対象となる。

- 【1】研究課題とその意義の明確性
- 【2】研究方法の適切性
- 【3】叙述内容の論理性および体系性
- 【4】研究内容の独創性
- 【5】研究内容の国際性

5. 法学研究科の教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

(1) 博士課程前期課程

① 研究コース

本研究科は、博士課程前期課程研究コースに関して、法学・政治学の研究者となるために必要とされる知識と能力（法学・政治学に関する高度な専門知識、資料読解能力（外国語能力を含む）、資料から得た情報をもとに一定の問題意識を形成し、独自性のある研究を行う能力）の獲得のため、科目区分として、講義科目、外国書講読科目、演習科目、および特別研究科目を置く。

- (a) 講義科目においては、法学・政治学に属する個々の学問分野が、講義形式または報告形式によって体系的に学ばれる。このような科目区分を置くことによって、個々の学問分野に関する高度な専門知識が獲得されると共に、資料読解能力（外国語能力を含む）が涵養される。
- (b) 外国書講読科目においては、法学・政治学に関する外国語文献の講読が行われる。このような科目区分を置くことによって、資料読解能力（外国語能力を含む）が涵養される。
- (c) 演習科目においては、法学・政治学に属する個々の学問分野における重要テーマが、演習形式によって学ばれる。このような科目区分を置くことによって、個々の学問分野に関する高度な専門知識が獲得されると共に、資料読解能力（外国語能力を含む）と、資料から得た情報をもとに一定の問題意識を形成し、独自性のある研究を行う能力が涵養される。
- (d) 特別研究科目においては、修士論文の執筆のための指導が行われる。このような科目区分を置くことによって、資料読解能力（外国語能力を含む）と、資料から得た情報をもとに一定の問題意識を形成し、独自性のある研究を行う能力が涵養される。

なお、上記いずれの科目区分においても、成績は、作成したレジュメやレポートの完成度のほか、授業中に発言した内容などを総合的に勘案し、平常点によって評価するものとする。

② リーガル・スペシャリスト・コース

本研究科は、博士課程前期課程リーガル・スペシャリスト・コースに関して、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする職業分野において活躍できる人材となるために必要とされる知識と能力（法学・政治学に関する高度な専門知識、資料読解能力、問題分析能力、問題解決能力）の獲得のため、科目区分として、専門科目と特別演習科目を置く。

- (a) 専門科目（その一部はリーガル・スペシャリスト・コース科目に指定される）においては、法学・政治学に属する個々の学問分野が、講義形式または演習形式によって体系的に学ばれる。このような科目区分を置くことによって、個々の学問分野に関する高度な専門知識が獲得されると共に、資料読解能力と問題分析能力が涵養される。

(b) 特別演習科目においては、修士論文の執筆のための指導が行われる。このような科目区分を置くことによって、資料読解能力、問題分析能力、および問題解決能力が涵養される。なお、上記いずれの科目区分においても、成績は、作成したレジュメやレポートの完成度のほか、授業中に発言した内容などを総合的に勘案し、平常点によって評価するものとする。

③公務行政コース

本研究科は、博士課程前期課程公務行政コースについて、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする公的な職業分野において活躍できる人材となるために必要とされる知識と能力（法学・政治学に関する高度な専門知識、資料読解能力、問題分析能力、問題解決能力）の獲得のため、科目区分として、専門科目と特別演習科目を置く。

- (a) 専門科目（その一部は公務行政コース科目に指定される）においては、法学・政治学に属する個々の学問分野が、講義形式または演習形式によって体系的に学ばれる。このような科目区分を置くことによって、個々の学問分野に関する高度な専門知識が獲得されると共に、資料読解能力と問題分析能力が涵養される。
- (b) 特別演習科目においては、修士論文の執筆のための指導が行われる。このような科目区分を置くことによって、資料読解能力、問題分析能力、および問題解決能力が涵養される。なお、上記いずれの科目区分においても、成績は、作成したレジュメやレポートの完成度のほか、授業中に発言した内容などを総合的に勘案し、平常点によって評価するものとする。

④法政リサーチ・コース

本研究科は、博士課程前期課程法政リサーチ・コースについて、法学・政治学に関する特定のテーマにおいて豊かな学識と教養を身につけた人材となるために必要とされる知識と能力（法学・政治学に関する高度な専門知識、資料読解能力、問題分析能力、問題解決能力）の獲得のため、科目区分として、専門科目と特別演習科目を置く。

- (a) 専門科目においては、法学・政治学に属する個々の学問分野が、講義形式または演習形式によって体系的に学ばれる。このような科目区分を置くことによって、個々の学問分野に関する高度な専門知識が獲得されると共に、資料読解能力と問題分析能力が涵養される。
- (b) 特別演習科目においては、修士論文の執筆のための指導が行われる。このような科目区分を置くことによって、資料読解能力、問題分析能力、および問題解決能力が涵養される。なお、上記いずれの科目区分においても、成績は、作成したレジュメやレポートの完成度のほか、授業中に発言した内容などを総合的に勘案し、平常点によって評価するものとする。

(2)博士課程後期課程

本研究科は、博士課程後期課程について、法学・政治学の研究者となるために必要とされる知識と能力（法学・政治学に関する高度な専門知識、自ら立てた研究計画に基づいて独創性のある研究を行い、その成果を学術論文（学術雑誌等に掲載される研究論文）にまとめる能力）の獲得のため、科目区分として、専門科目を置く。

専門科目においては、法学・政治学に属する個々の学問分野が、講義形式、報告形式、または講読形式によって体系的に学ばれる。このような科目区分を置くことによって、個々の学問分野に関する高度な専門知識が獲得されると共に、自ら立てた研究計画に基づいて独創性のある研究を行い、その成果を学術論文（学術雑誌等に掲載される研究論文）にまとめる能力が涵養される。

なお、上記の科目区分において、成績は、作成したレジュメやレポートの完成度のほか、授業中に発言した内容などを総合的に勘案し、平常点によって評価するものとする。

6. 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

(1)博士課程前期課程

①研究コース

本研究科は、以下のすべての項目に該当する者を博士課程前期課程研究コースの入学者として受け入れる。

- ア) 法学・政治学の研究者を志望する者
- イ) 大学院での研究および学修をつうじて自らの学問的関心をより専門的に深めていく意欲がある者
- ウ) 大学院での研究および学修をつうじて自らの学問的関心をより専門的に深めていくために必要とされる基礎的な知識と能力を備えている者

②リーガル・スペシャリスト・コース

本研究科は、以下のすべての項目に該当する者を博士課程前期課程リーガル・スペシャリスト・コースの入学者として受け入れる。

- ア) 法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする職業分野を志望する者
- イ) 大学院での研究および学修をつうじて上記ア) の職業分野で求められる知識と能力を獲得していく意欲がある者
- ウ) 大学院での研究および学修をつうじて上記ア) の職業分野で求められる知識と能力を獲得していくために必要とされる基礎的な知識と能力を備えている者

③公務行政コース

本研究科は、以下のすべての項目に該当する者を博士課程前期課程公務行政コースの入学者として受け入れる。

- ア) 法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする公的な職業分野を志望する者
- イ) 大学院での研究および学修をつうじて上記ア) の職業分野で求められる知識と能力を獲得していく意欲がある者
- ウ) 大学院での研究および学修をつうじて上記ア) の職業分野で求められる知識と能力を獲得していくために必要とされる基礎的な知識と能力を備えている者

④法政リサーチ・コース

本研究科は、以下のすべての項目に該当する者を博士課程前期課程法政リサーチ・コースの入学者として受け入れる。

- ア) 大学院での研究および学修をつうじて自らの学問的関心をより専門的に深めていく意欲がある者
- イ) 大学院での研究および学修をつうじて自らの学問的関心をより専門的に深めていくために必要とされる基礎的な知識と能力を備えている者

(2)博士課程後期課程

本研究科は、以下のすべての項目に該当する者を博士課程後期課程の入学者として受け入れる。

- ア) 法学・政治学の研究者を志望する者
- イ) 自ら立てた研究計画に基づいて独創性のある研究を行い、その成果を学術論文（学術雑誌等に掲載される研究論文）にまとめていく意欲がある者
- ウ) 自ら立てた研究計画に基づいて独創性のある研究を行い、その成果を学術論文（学術雑誌等に掲載される研究論文）にまとめていくために必要とされる基礎的な知識と能力を備えている者

以上

2018年4月入学 法学研究科博士課程前期課程 一般入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程前期課程	60名	若干名
	リーガル・スペシャリスト・コース			
	公務行政コース 法政リサーチ・コース			25名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

つぎの(1)～(12)のいずれかに該当する者

- (1) 大学*を卒業した者または本研究科入学までに卒業する見込みの者
*学校教育法第83条の大学（わが国の大学における学部の正規の課程）
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (4) 外国の大学その他の外国の学校（＊1）において、修業年限が3年（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、5年）以上である課程を修了すること（＊2）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者（平成28年文部科学省令第19号）
- (5) 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (6) わが国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (8) 旧制大学等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第9号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- (10) 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者もしくは本研究科入学までに取得する見込みの者で22歳以上の者もしくは本研究科入学までに22歳に達する者、その他教育職員免許状を有する文部科学大臣の指定した者（本研究科入学までに指定の要件を満たす見込みの者を含む）（昭和28年文部省告示第5号第10号～第12号）
- (11) 飛び級入学により大学院に入学した者であって、個別の入学資格審査により、本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（＊3）
- (12) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力がある

と認めた者で、22歳以上の者または本研究科入学までに22歳に達する者（＊4）

- * 1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。
- * 2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号（＊1）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。
- * 3 (11)に該当する可能性がある場合は、本学大学院における教育をうけるにふさわしい学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。
- * 4 (12)に該当する可能性がある場合は、出願に先立ち事前に大学を卒業した者と同等以上の学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。

※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い等、上記に該当するかどうか少しでも疑問や不明な点がある場合は、必ず個別審査期限前（「大学院入学試験要項（別冊）」20ページを参照）に本研究科の事務室（法学部事務室）に照会してください。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
9月実施入学試験	2017年9月9日（土）	2017年7月28日（金）～2017年8月18日（金）
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	最終学校の成績証明書 および卒業（見込）証明書		原本を提出すること

(3)	教育部学歴証書電子注冊備案表および教育部学籍在線驗証報告	<ul style="list-style-type: none"> ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院を卒業（修了）した者は、教育部学歴証書電子注冊備案表（‘教育部学历证书电子注册备案表’）を印刷したもの ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院に在学中の者は、教育部学籍在線驗証報告（‘教育部学籍在线验证报告’）を印刷したもの 	どちらも証明書の言語表記は英文版のもの
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	志望理由書		LAW 3
(7)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

筆記試験および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

研究コース

筆記 試験	論文	別表1の科目のうちから、入学後主として研究する科目を1科目、随意選択するもの1科目の合計2科目。	受験科目は届出制です。入学後主として研究する科目と随意選択科目は、同一科目であってはなりません。判例・注解・解説等のない指定の六法全書（国際法については国際条約集）の持ち込みを認めますが、書き込み等のあるものは持ち込みを認めません（詳細は1ページを参照してください）。	120分
	外国語	別表2のうちから1科目選択。	一般的な外国語辞書の持ち込みを認めますが、電子辞書等の持ち込みは認めません。	
面接試験		別表1の科目のうちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考查としての口頭試問を含む。	30分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

別表2

英語、ドイツ語、フランス語

リーガル・スペシャリスト・コース/公務行政コース/法政リサーチ・コース

筆記 試験	論文	別表1の科目のうちから、入学後主として研究する科目を1科目、随意選択するもの1科目の合計2科目。 ただし、随意選択科目を別表2の外国語科目に代えて受験可能。	受験科目は届出制です。入学後主として研究する科目と随意選択科目は、同一科目であってはなりません。判例・注解・解説等のない指定の六法全書（国際法については国際条約集）の持ち込みを認めますが、書き込み等のあるものは持ち込みを認めません（詳細は1ページを参照してください）。 外国語科目で受験する場合、一般的な外国語辞書の持ち込みを認めますが、電子辞書等の持ち込みは認めません。	120分
	面接試験	別表1の科目のうちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考查としての口頭試問を含む。	

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学
--

別表2

英語、ドイツ語、フランス語

VII. 試験日・試験時間割

研究コース

試験日	9：40～10：00	第1時限 10：00～12：00	第2時限 13：00～15：00	第3時限 16：00～
2017年9月9日(土)	入室・説明	論文2科目	外国語1科目	面接試験
2018年2月10日(土)				

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

リーガル・スペシャリスト・コース／公務行政コース／法政リサーチ・コース

試験日	9：40～10：00	第1時限 10：00～12：00	第2時限 14：00～
2017年9月9日(土)	入室・説明	論文2科目もしくは 論文1科目・外国語1科目	面接試験
2018年2月10日(土)			

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
9月実施入学試験	2017年9月22日（金）	14：00
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程前期課程 社会人入学試験（一般）

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	リーガル・スペシャリスト・コース 公務行政コース 法政リサーチ・コース	博士課程前期課程	60名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

つぎの(1)～(12)のいずれかに該当し、入学時までに3年以上の職業経験を有する者

- (1) 大学*を卒業した者
*学校教育法第83条の大学（わが国の大学における学部の正規の課程）
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (4) 外国の大学その他の外国の学校（＊1）において、修業年限が3年（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、5年）以上である課程を修了すること（＊2）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者（平成28年文部科学省令第19号）
- (5) 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (6) わが国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (8) 旧制大学等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第9号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- (10) 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者もしくは本研究科入学までに取得する見込みの者で22歳以上の者もしくは本研究科入学までに22歳に達する者、その他教育職員免許状を有する文部科学大臣の指定した者（本研究科入学までに指定の要件を満たす見込みの者を含む）（昭和28年文部省告示第5号第10号～第12号）
- (11) 飛び級入学により大学院に入学した者であって、個別の入学資格審査により、本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（＊3）
- (12) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳以上の者または本研究科入学までに22歳に達する者（＊4）

- * 1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。
- * 2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号（* 1）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。
- * 3 (1)に該当する可能性がある場合は、本学大学院における教育をうけるにふさわしい学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。
- * 4 (2)に該当する可能性がある場合は、出願に先立ち事前に大学を卒業した者と同等以上の学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。

※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い等、上記に該当するかどうか少しでも疑問や不明な点がある場合は、必ず個別審査期限前（「大学院入学試験要項（別冊）」20ページを参照）に本研究科の事務室（法学部事務室）に照会してください。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
9月実施入学試験	2017年9月9日（土）	2017年7月28日（金）～2017年8月18日（金）
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、その他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	最終学校の成績証明書 および卒業（見込）証明書		原本を提出すること

(3)	教育部学歴証書電子注冊備案表および教育部学籍在線驗証報告	<ul style="list-style-type: none"> ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院を卒業（修了）した者は、教育部学歴証書電子注冊備案表（‘教育部学历证书电子注册备案表’）を印刷したもの ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院に在学中の者は、教育部学籍在線驗証報告（‘教育部学籍在线验证报告’）を印刷したもの 	どちらも証明書の言語表記は英文版のもの
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	志望理由書		LAW 3
(7)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

筆記試験および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

筆記 試験	論文	別表1の科目のうちから、入学後主として研究する科目を1科目。	受験科目は届出制です。 判例・注解・解説等のない指定の六法全書（国際法については国際条約集）の持ち込みを認めますが、書き込み等のあるものは持ち込みを認めません（詳細は1ページを参照してください）。	60分
面接試験		別表1の科目のうちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考查としての口頭試問を含む。	20分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	9:40~10:00	第1时限 10:00~11:00	第2时限 14:00~
2017年9月9日（土）	入室・説明	論文1科目	面接試験
2018年2月10日（土）			

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
9月実施入学試験	2017年9月22日（金）	14:00
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程前期課程 社会人入学試験（有資格者）

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	リーガル・スペシャリスト・コース 公務行政コース 法政リサーチ・コース	博士課程前期課程	60名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

弁護士、弁理士、公認会計士、税理士、不動産鑑定士、司法書士、社会保険労務士の資格を現に有し、かつ、つぎの(1)～(12)のいずれかに該当する者

- (1) 大学*を卒業した者または本研究科入学までに卒業する見込みの者
*学校教育法第83条の大学（わが国の大学における学部の正規の課程）
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (4) 外国の大学その他の外国の学校（＊1）において、修業年限が3年（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、5年）以上である課程を修了すること（＊2）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者（平成28年文部科学省令第19号）
- (5) 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (6) わが国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (8) 旧制大学等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- (9) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第9号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- (10) 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者もしくは本研究科入学までに取得する見込みの者で22歳以上の者もしくは本研究科入学までに22歳に達する者、その他教育職員免許状を有する文部科学大臣の指定した者（本研究科入学までに指定の要件を満たす見込みの者を含む）（昭和28年文部省告示第5号第10号～第12号）
- (11) 飛び級入学により大学院に入学した者であって、個別の入学資格審査により、本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（＊3）
- (12) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力がある

と認めた者で、22歳以上の者または本研究科入学までに22歳に達する者（＊4）

- * 1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。
- * 2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号（＊1）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。
- * 3 (11)に該当する可能性がある場合は、本学大学院における教育をうけるにふさわしい学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。
- * 4 (12)に該当する可能性がある場合は、出願に先立ち事前に大学を卒業した者と同等以上の学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。

※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い等、上記に該当するかどうか少しでも疑問や不明な点がある場合は、必ず個別審査期限前（「大学院入学試験要項（別冊）」20ページを参照）に本研究科の事務室（法学部事務室）に照会してください。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
9月実施入学試験	2017年9月9日（土）	2017年7月28日（金）～2017年8月18日（金）
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	最終学校の成績証明書 および卒業（見込）証明書		原本を提出すること

(3)	教育部学歴証書電子注册備案表および教育部学籍在線驗証報告	<ul style="list-style-type: none"> ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院を卒業（修了）した者は、教育部学歴証書電子注册備案表（‘教育部学历证书电子注册备案表’）を印刷したもの ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院に在学中の者は、教育部学籍在線驗証報告（‘教育部学籍在线验证报告’）を印刷したもの 	どちらも証明書の言語表記は英文版のもの
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	志望理由書		LAW 3
(7)	資格証明書のコピー	資格認定を証明できるもの	
(8)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

書類審査および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

書類審査	—	—	—
面接試験	別表1の科目のうちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考査としての口頭試問を含む。	20分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	9:40~10:00	第1時限 10:00~
2017年9月9日（土）	入室・説明	面接試験
2018年2月10日（土）		

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
9月実施入学試験	2017年9月22日（金）	14:00
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程前期課程 外国人留学生入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程前期課程	60名	若干名
	リーガル・スペシャリスト・コース			
	公務行政コース 法政リサーチ・コース			若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

わが国における「留学」の在留資格を有する者または本研究科入学までに取得する予定の者で、つぎの(1)～(11)のいずれかに該当する者

- (1) 大学*を卒業した者または本研究科入学までに卒業する見込みの者
*学校教育法第83条の大学（わが国の大学における学部の正規の課程）
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (4) 外国の大学その他の外国の学校（＊1）において、修業年限が3年（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程又は獣医学を履修する博士課程への入学については、5年）以上である課程を修了すること（＊2）により、学士の学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者（平成28年文部科学省令第19号）
- (5) 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修することにより当該国の学校教育における16年の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (6) わが国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者または本研究科入学までに修了する見込みの者
- (8) 旧制大学等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- (9) 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者もしくは本研究科入学までに取得する見込みの者で22歳以上の者もしくは本研究科入学までに22歳に達する者、その他教育職員免許状を有する文部科学大臣の指定した者（本研究科入学までに指定の要件を満たす見込みの者を含む）（昭和28年文部省告示第5号第10号～第12号）
- (10) 飛び級入学により大学院に入学した者であって、本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（＊3）
- (11) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳以上の者または本研究科入学までに22歳に達する者（＊4）

* 1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者に

よる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

- * 2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目をわが国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号（* 1）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。
- * 3 (10)に該当する可能性がある場合は、本学大学院における教育をうけるにふさわしい学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。
- * 4 (11)に該当する可能性がある場合は、出願に先立ち事前に大学を卒業した者と同等以上の学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。

※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い等、上記に該当するかどうか少しでも疑問や不明な点がある場合は、必ず個別審査期限前（「大学院入学試験要項（別冊）」20ページを参照）に本研究科の事務室（法学部事務室）に照会してください。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

※大学院の授業内容を理解できる程度の日本語能力を必要とします。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
9月実施入学試験	2017年9月9日（土）	2017年7月28日（金）～2017年8月18日（金）
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、その他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	最終学校の成績証明書 および卒業（見込）証明書		原本を提出すること

(3)	教育部学歴証書電子注册備案表および教育部学籍在線驗証報告	<ul style="list-style-type: none"> ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院を卒業（修了）した者は、教育部学歴証書電子注册備案表（‘教育部學歷证书电子注册备案表’）を印刷したもの ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院に在学中の者は、教育部学籍在線驗証報告（‘教育部學籍在线验证报告’）を印刷したもの 	どちらも証明書の言語表記は英文版のもの
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	日本語能力認定書		GS 4
(7)	立命館大学に留学を希望する理由	A4用紙横書き、日本語で300字以上、自筆のこと。	様式自由
(8)	研究テーマ・研究計画書	日本語2,000字程度	LAW 4
(9)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒 603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

4. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類に記載する氏名・生年月日は、旅券の記載どおりに記入してください（出願時に有効な旅券を所持している者のみ）。
- (2) 一旦提出された書類は理由の如何にかかわらず返却しません。

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

筆記試験および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

研究コース

筆記 試験	論文	別表1の科目のうちから、入学後主として研究する科目を1科目、随意選択するもの1科目の合計2科目。	受験科目は届出制です。 入学後主として研究する科目と随意選択科目は、同一科目であってはなりません。 判例・注解・解説等のない指定の六法全書（国際法については国際条約集）の持ち込みを認めますが、書き込み等のあるものは持ち込みを認めません（詳細は1ページを参照してください）。	180分
面接試験		別表1の科目のうちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考査としての口頭試問、日本語能力の試験を含む。	30分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

リーガル・スペシャリスト・コース/公務行政コース/法政リサーチ・コース

筆記 試験	論文	別表1の科目のうちから、入学後主として研究する科目を1科目。	受験科目は届出制です。 判例・注解・解説等のない指定の六法全書（国際法については国際条約集）の持ち込みを認めますが、書き込み等のあるものは持ち込みを認めません（詳細は1ページを参照してください）。	120分
面接試験		別表1の科目のうちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考査としての口頭試問、日本語能力の試験を含む。	20分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

VIII. 試験日・試験時間割

研究コース

試験日	9：40～10：00	第1時限 10：00～13：00	第2時限 14：00～
2017年9月9日（土）	入室・説明	論文2科目	面接試験
2018年2月10日（土）			

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

リーガル・スペシャリスト・コース／公務行政コース／法政リサーチ・コース

試験日	9：40～10：00	第1時限 10：00～12：00	第2時限 14：00～
2017年9月9日（土）	入室・説明	論文1科目	面接試験
2018年2月10日（土）			

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
9月実施入学試験	2017年9月22日（金）	14：00
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程前期課程 学内進学入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程前期課程	60名	若干名

入学定員は、全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

立命館大学法学部4回生に在籍し、2018年3月卒業見込みの者、または法学部3回生の早期卒業候補者で学業成績が優秀な者

学業成績は4回生は下記の(1)、(2)のすべての要件を、3回生は(2)の要件を満たしていることが必要です。

- (1) 取得単位：3回生終了までに修得した総単位数（教職・随意科目を除く）が100単位以上で、かつ累積GPA*が3.70以上であること
- (2) 必修外国語：A評価以上の科目が5科目以上あること

*GPA (GRADE POINT AVERAGEの略) の算出方法については、「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前日の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
9月実施入学試験	2017年9月9日（土）	2017年7月28日（金）～2017年8月18日（金）
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、その他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	成績証明書		原本を提出すること
(3)	卒業見込証明書		原本を提出すること
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	志望理由書		LAW 3
(7)	出願資格確認申請書 <GPA報告書>		LAW 5
(8)	① 専門演習レポート ② 卒業論文 ③ ①②に代わる論文(単著) 8,000字以上	①～③のいずれかを提出すること	
(9)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

V. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VI. 選考方法・試験科目

書類審査および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

書類審査	—	—	—
面接試験	別表1の科目のうちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考查としての口頭試問を含む。	30分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

VII. 試験日・試験時間割

試験日	9:40～10:00	第1時限 10:00～
2017年9月9日（土）	入室・説明	面接試験
2018年2月10日（土）		

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

VIII. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
9月実施入学試験	2017年9月22日（金）	14:00
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程前期課程 学内進学入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	リーガル・スペシャリスト・コース 公務行政コース 法政リサーチ・コース	博士課程前期課程	60名	35名

入学定員は、全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

- 立命館大学各学部4回生（授業料納入特例措置の適用を受けている社会人学生〔以下、特例社会人学生という。〕の場合は卒業見込年度の在籍者）であって、2018年3月卒業見込みで、学部3回生終了時（特例社会人学生の場合は、卒業見込年度の前年度）までに修得した総単位数（教職・随意科目を除く）が90単位以上で、かつ累積GPA^{*1}が2.90以上である者、および各学部3回生の早期卒業候補者。
- 4回生については出願資格1.で、卒業要件単位数または通算GPA^{*1}を満たしていない場合でも、つぎの(1)～(7)のいずれかの基準を満たすことにより、出願を認めます。
 - 法学部生であって、3回生時に履修した科目のうち次頁の法学部専門科目一覧に該当する科目から本人が届け出た20単位について、そのGPA^{*1}が3.30以上である者
 - TOEFL iBT®テスト61点以上、TOEIC® LISTENING AND READINGテスト600点以上、または実用英語技能検定（英検）準1級以上の英語学力を有する者（全学部生対象）^{*2}
 - 弁理士試験短答式試験に合格した者（全学部生対象）
 - 公認会計士試験短答式試験に合格した者（全学部生対象）
 - 税理士試験の1科目以上に合格した者（全学部生対象）
 - 司法書士試験に合格した者（全学部生対象）
 - 不動産鑑定士試験短答式試験に合格した者（全学部生対象）

* 1 GPA (GRADE POINT AVERAGE の略) の算出方法については、「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

* 2 TOEFL®テスト、TOEIC® LISTENING AND READINGテストのスコアについては、出願受付期間の始期から遡って2年以内のものである場合のみ、出願資格として認めます。TOEFL ITP®テスト、TOEIC® LISTENING AND READINGテスト（IP）は、対象となりません。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

法学部専門科目一覧

アジア政治史	国際政治論Ⅱ	犯罪学
アジア法	国際取引法	比較政治制度論
英文契約実務	国際法Ⅰ	福祉社会論
英米法Ⅰ	国際法Ⅱ	福祉政治
英米法Ⅱ	国際法Ⅲ	法交渉学
会社法Ⅰ	国際法務演習Ⅱ	法社会学
会社法Ⅱ	財政学Ⅰ	法政情報論
海商・航空法	財政学Ⅱ	法政特殊講義
活字メディア論	自主企画演習A	法哲学
GATT・WTO法	自主企画演習B	保険法
環境計画論	司法過程論	民事訴訟法Ⅰ
環境法Ⅰ	社会政策Ⅰ	民事訴訟法Ⅱ
環境法Ⅱ	社会政策Ⅱ	民法Ⅰ（入門・総則）
行政学Ⅰ	社会調査法	民法Ⅱ（債権各論）
行政学Ⅱ	社会福祉法	民法Ⅲ（物権法）
行政管理論	社会保障法	民法Ⅳ（債権総論）
行政法Ⅰ	商取引法	民法Ⅴ（担保法）
行政法Ⅱ	少年法	民法Ⅵ（家族法）
近代国際政治史	消費者法	メディア・リテラシー論Ⅰ
近代政治思想史	情報法	有価証券法
近代日本政治史	政策形成論	ヨーロッパ法
経済原論Ⅰ	政治意識論	労働法
経済原論Ⅱ	政治学原論Ⅰ	ロースクール行政法
経済政策Ⅰ	政治学原論Ⅱ	ロースクール刑法Ⅰ
経済政策Ⅱ	政治過程論	ロースクール刑法Ⅱ
経済法Ⅰ	政治コミュニケーション	ロースクール憲法Ⅰ
経済法Ⅱ	政治文化論	ロースクール憲法Ⅱ
刑事訴訟法	西洋政治外交史	ロースクール商法
刑法Ⅰ（総論）	西洋法史	ロースクール民法Ⅰ
刑法Ⅱ（各論）	税法	ロースクール民法Ⅱ
現代国際政治史	戦後日本政治史	Introduction to Anthropology
現代政治思想史	専門演習	Introduction to Economics
現代政治理論	戦略的環境アセスメント	Introduction to Geography
現代日本政治論	知的財産法	Introduction to Law
憲法Ⅰ	地方自治法	Introduction to Linguistics
憲法Ⅱ	地方自治論	Introduction to Natural Science
公共政策実習	データ解析入門	Introduction to Politics
公共性論	電波メディア論	Introduction to Sociology
公務行政演習Ⅱ	倒産処理法	Japan and the West
国際環境法	都市構造論	Kyoto and the Japanese Arts
国際機構論	都市政策論	Modern World History
国際私法Ⅰ	途上国政治論	Peace Museum Seminar
国際私法Ⅱ	日本外交論	Peace Studies Seminar
国際人権法	日本政治思想史	Special Lecture
国際政治論Ⅰ	日本法史	

英語アカデミック・ライティング	英語のリスニングと発音（中上級）	専門フランス語Ⅲ
英語精読	専門中国語Ⅰ	法政英語特殊講義Ⅰ
英語ディベート・ディスカッション	専門中国語Ⅱ	法政英語特殊講義Ⅱ
英語で学ぶ社会・文化（上級）	専門中国語Ⅲ	法政英書講読Ⅰ
英語で学ぶ社会・文化（中級）	専門ドイツ語Ⅰ	法政英書講読Ⅱ
英語で学ぶ社会・文化（中上級）	専門ドイツ語Ⅱ	法政海外フィールド・スタディ
英語特殊講義（中級）	専門ドイツ語Ⅲ	メディア英語
英語特殊講義（中上級）	専門フランス語Ⅰ	
英語のリスニングと発音（中級）	専門フランス語Ⅱ	

コーオプ演習	コーオプ教育概論	全学インターンシップ
--------	----------	------------

III. 出願期間

	試験日	出願期間
9月実施入学試験	2017年9月9日（土）	2017年7月28日（金）～2017年8月18日（金）
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、その他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	成績証明書		原本を提出すること
(3)	卒業見込証明書		原本を提出すること
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	志望理由書		LAW 3
(7)	出願資格確認申請書 <GPA報告書>		LAW 5
(8)	「出願資格を証明する書類」貼付用紙		LAW 6-1
(9)	「客観的な成果を証明する資料」貼付用紙	新聞記事、資格証明、表彰状などの縮小コピー	LAW 6-2
(10)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用して下さい。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

書類審査および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

書類審査	—	所定の書式に加えて、法律討論会入賞、懸賞論文入選、資格および資格試験など客観的な成果を示す資料を提出することができます。	—
面接試験	別表1の科目のうちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考查としての口頭試問を含む。大学院入学後は選択した科目を主として研究し、修士論文を作成することになります。	20分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	9:40~10:00	第1時限 10:00~
2017年9月9日（土）	入室・説明	面接試験
2018年2月10日（土）		

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
9月実施入学試験	2017年9月22日（金）	14:00
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程前期課程 学内進学入学試験 (経営学研究科との大学院教育相互協力にもとづく入学試験)

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	リーガル・スペシャリスト・コース	博士課程前期課程	60名	若干名

入学定員は、全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

立命館大学大学院経営学研究科博士課程前期課程2回生に在学し、2018年3月修了見込みの者で、法学研究科リーガル・スペシャリスト・コースで税法を中心に研究を希望する者

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前日の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません(「見込み」のままで入学することはできません)。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	成績証明書		原本を提出すること
(3)	修了見込証明書		原本を提出すること
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2

(6)	志望理由書		LAW 3
(7)	修士論文		複写可
(8)	修士論文の概要		LAW 9
(9)	研究計画書	A4用紙横書き、日本語で1,000字程度	様式自由
(10)	指導教員の推薦書【任意】		LAW 10
(11)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

面接試験	入学後主として研究する科目（税法）についての口頭試問を含む	30分
------	-------------------------------	-----

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	8：40～9：00	第1时限 9：00～
2018年2月10日（土）	入室・説明	面接試験

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	14：00

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程前期課程 飛び級入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	リーガル・スペシャリスト・コース 公務行政コース 法政リサーチ・コース	博士課程前期課程	60名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

立命館大学法学部3回生に在学する者で、つぎの(1)～(4)の基準のいずれかを満たす者。

- (1) 3回生前期終了時点での総修得単位数（教職・随意科目を除く）が84単位以上であるとともに、累積GPA*が3.60以上の者で、かつ3回生終了時点での総修得単位数（教職・随意科目を除く）が92単位以上であること
- (2) 3回生終了時点での総修得単位数（教職・随意科目を除く）が92単位以上であるとともに、累積GPA*が3.60以上の者
- (3) 3回生終了時点での総修得単位数（教職・随意科目を除く）が92単位以上であるとともに、法学部学修要覧に記載されている大区分が「学部基礎」「専門化プログラム」の専門科目の中から本人が申告した30単位分の履修科目のGPA*が3.90以上の者
- (4) 3回生終了時点での総修得単位数（教職・随意科目を除く）が92単位以上であるとともに、必修外国語（第一外国語および第二外国語に限る。選択外国語、副専攻、外国書講読は含まない）の累積GPA*が4.50以上の者

*GPA (GRADE POINT AVERAGE の略) の算出方法については、「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前日の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。なお出願予定者は、あらかじめ法学部事務室に申し出て相談を受けてください。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、その他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	成績証明書		原本を提出すること
(3)	受験科目届出書		LAW 1
(4)	調査書		LAW 2
(5)	志望理由書		LAW 3
(6)	出願資格確認票 <GPA報告書>		LAW 7-1
(7)	「客観的な成果を証明する資料」貼付用紙		LAW 7-2
(8)	専門演習レポートの概要	専門演習受講生のみ	LAW 8
(9)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用して下さい。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

V. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VI. 選考方法・試験科目

書類審査および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

書類審査	成績等	学部成績のほか、法律討論会入賞、懸賞論文入選、資格および資格試験など客観的な成果を考慮します。	-
面接試験	別表1の科目的うちから入学後主として研究する科目として届け出た科目1科目。	学力考查としての口頭試問を含む。大学院入学後は選択した科目を主として研究し、修士論文を作成することになります。	20分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

VII. 試験日・試験時間割

試験日	9：40～10：00	第1时限 10：00～
2018年2月10日（土）	入室・説明	面接試験

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

VIII. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	14：00

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程後期課程 一般入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程後期課程	10名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

つきの(1)~(7)のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位もしくは専門職学位（法務博士を除く）を有する者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修し、修士の学位もしくは専門職学位（法務博士を除く）に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (4) わが国において、文部科学大臣が外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位もしくは専門職学位（法務博士を除く）に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者(平成元年文部省告示第118号)(＊1)
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位（法務博士を除く）を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳以上の者または本研究科入学までに24歳に達する者(＊2)

* 1 (6)に該当する可能性がある場合は、修士の学位を有する者と同等以上の学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。

* 2 (7)に該当する可能性がある場合は、修士の学位または専門職学位（法務博士を除く）を有する者と同等以上の学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前日の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

N. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、その他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	最終学校の成績証明書 および修了（見込）証明書	外国においての修士の学位に相当する学位を得た者は、学位授与証明書を提出すること	原本を提出すること
(3)	教育部学歴証書電子注冊備案表および教育部学籍在線驗証報告	<ul style="list-style-type: none">中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院を卒業（修了）した者は、教育部学歴証書電子注冊備案表（‘教育部学历证书电子注册备案表’）を印刷したもの中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院に在学中の者は、教育部学籍在線驗証報告（‘教育部学籍在线验证报告’）を印刷したもの	どちらも証明書の言語表記は英文版のもの
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	修士論文および同論文の概要（日本語2,000字程度）と研究計画書（日本語4,000字以内）各3部	修士の学位を有する者は提出してください。修士論文のほかに、他の論文を併せて提出し、審査対象とすることができます。	どちらも様式自由A4用紙横書き
(7)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 （075）465-8175（直通）

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

※本学大学院の博士課程前期課程・修士課程または専門職学位課程を2017年9月修了または2018年3月修了見込みのものが引き続いて博士課程後期課程に進学するために出願する場合は入学検定料の納入は不要です。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

筆記試験および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

筆記試験	外国語	別表2のうちから2科目選択。ただし、外国語科目的うち1科目は、入学後研究する専門科目を別表1から選んで、代えて受験可能。	受験科目は届出制です。一般的な外国語辞書の持ち込みを認めますが、電子辞書等の持ち込みは認めません。専門科目を選択した場合、判例・注解・解説等のない指定の六法全書（国際法について国際条約集）の持ち込みを認めますが、書き込み等のあるものは持ち込みを認めません（詳細は1ページを参照してください）。	180分
面接試験		修士論文またはそれに準ずるもの審査。	学力考査としての口頭試問を含む。	30分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

別表2

英語、ドイツ語、フランス語

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	9：40～10：00	第1時限 10：00～13：00	第2時限 14：00～
2018年2月10日（土）	入室・説明	外国語2科目もしくは 外国語1科目・論文1科目	面接試験

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	14:00

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程後期課程 一般入学試験（法務博士用）

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程後期課程	10名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

法務博士の学位を有する者、または入学までに法務博士の学位を得る見込みの者

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	成績証明書（席次の制度があれば学内順位を明示すること）および法務博士学位取得証明書または法務博士学位取得見込証明書		原本を提出すること
(3)	受験科目届出書		LAW 1
(4)	調査書		LAW 2
(5)	研究計画書3部	日本語4,000字程度	様式自由 A4用紙横書き

(6)	出身法科大学院の指導教員推薦	提出は任意です ※立命館大学法務研究科出身者の場合提出は不要です。	LAW 10
(7)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用して下さい。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

※本学大学院の博士課程前期課程・修士課程または専門職学位課程を2017年9月修了または2018年3月修了見込みのものが引き続いで博士課程後期課程に進学するために出願する場合は入学検定料の納入は不要です。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

筆記試験および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

筆記試験	論文	別表1の科目のうちから、入学後研究する専門科目を1科目。	受験科目は届出制です。判例・注解・解説等のない指定の六法全書（国際法については国際条約集）の持ち込みを認めますが、書き込み等のあるものは持ち込みを認めません（詳細は1ページを参照してください）。	180分
	外国語	外国語（別表2のいずれか）のうち1科目。	受験科目は届出制です。一般的な外国語辞書の持ち込みを認めますが、電子辞書等の持ち込みは認めません。	
面接試験	研究計画書に基づく審査	学力考查としての口頭試問を含む	30分	

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

別表2

英語、ドイツ語、フランス語

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	9:40~10:00	第1時限 10:00~13:00	第2時限 14:00~
2018年2月10日（土）	入室・説明	論文1科目・外国語1科目	面接試験

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	14:00

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程後期課程 一般入学試験（司法試験合格者）

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程後期課程	10名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

新司法試験に合格した者

III. 出願期間

	試験日	出願期間
10月実施入学試験	2017年10月21日（土）	2017年9月22日（金）～2017年10月6日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	成績証明書（席次の制度があれば学内順位を明示すること）および法務博士学位取得証明書		原本を提出すること
(3)	受験科目届出書		LAW 1
(4)	調査書		LAW 2
(5)	研究計画書3部	日本語4,000字程度	様式自由 A4用紙横書き
(6)	出身法科大学院の指導教員推薦	提出は任意です ※立命館大学法務研究科出身者の場合提出は不要です。	LAW 10

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用して下さい。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

※本学大学院の博士課程前期課程・修士課程または専門職学位課程を2017年9月修了または2018年3月修了見込みのものが引き続いて博士課程後期課程に進学するために出願する場合は入学検定料の納入は不要です。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

筆記試験および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

筆記試験	外国語	別表2のうちから1科目選択	受験科目は届出制です。 一般的な外国語辞書の持ち込みを認めますが、電子辞書等の持ち込みは認めません。	90分
面接試験		別表1の科目のうちから入学後研究する専門科目として届け出た科目1科目。研究計画書に基づく審査	学力考査としての口頭試問を含む。	30分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

別表2

英語、ドイツ語、フランス語

VII. 試験日・試験時間割

試験日	9：40～10：00	第1時限 10：00～11：30	第2時限 14：00～
2017年10月21日（土）	入室・説明	外国語1科目	面接試験

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
10月実施入学試験	2017年11月10日（金）	14：00

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程後期課程 社会人入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程後期課程	10名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

つきの(1)、(2)のいずれかに該当する者

- (1) 旧司法試験に合格し司法修習を修了した者
- (2) 弁理士、公認会計士、税理士、不動産鑑定士、司法書士、社会保険労務士の資格を現に有する者で、修士の学位を有する者または本研究科入学までに得る見込みの者

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前日の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	最終学校の成績証明書および卒業証明書（もしくは修了（見込）証明書）	外国においての修士の学位に相当する学位を得た者は、学位授与証明書	原本を提出すること

(3)	教育部学歴証書電子注册備案表および教育部学籍在線驗証報告	<ul style="list-style-type: none"> ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院を卒業（修了）した者は、教育部学歴証書電子注册備案表（‘教育部学历证书电子注册备案表’）を印刷したもの ・中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院に在学中の者は、教育部学籍在線驗証報告（‘教育部学籍在线验证报告’）を印刷したもの 	どちらも証明書の言語表記は英文版のもの
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	研究計画書3部	日本語4,000字以内	様式自由 A4用紙横書き
(7)	修士論文および同論文の概要（日本語2,000字程度）各2部	<p>修士の学位を有する者については提出してください。 修士論文のほかに、他の論文を併せて提出し、審査対象とすることができます。</p>	様式自由
(8)	出願資格を証明する書類1通		
(9)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

※本学大学院の博士課程前期課程・修士課程または専門職学位課程を2017年9月修了または2018年3月修了見込みのものが引き続いで博士課程後期課程に進学するために出願する場合は、入学検定料の納入は不要です。

V. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

筆記試験および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

筆記試験	外国語	別表2のうちから1科目選択。	受験科目は届出制です。 一般的な外国語辞書の持ち込みを認めますが、電子辞書等の持ち込みは認めません。	90分
面接試験		別表1の科目のうちから入学後研究する専門科目として届け出た科目1科目。	研究計画書に基づく口頭試問。 修士の学位を有する者は修士論文の口頭試問を含む。	30分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学
--

別表2

英語、ドイツ語、フランス語

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	9:40~10:00	第1時限 10:00~11:30	第2時限 14:00~
2018年2月10日（土）	入室・説明	外国語1科目	面接試験

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	14:00

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程後期課程 外国人留学生入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程後期課程	10名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

わが国における「留学」の在留資格を有する者または本研究科入学までに取得する予定の者で、つぎの(1)~(7)のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位もしくは専門職学位を有する者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育をわが国において履修し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (4) わが国において、文部科学大臣が外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または本研究科入学までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者(平成元年文部省告示第118号)(*1)
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳以上の者または本研究科入学までに24歳に達する者(*2)

* 1 (6)に該当する可能性がある場合は、修士の学位を有する者と同等以上の学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。

* 2 (7)に該当する可能性がある場合は、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があるかどうか個別審査を行いますので、「大学院入学試験要項（別冊）」18ページを参照のうえ、所定の期日までに必要な手続きをとってください。

※外国の学校教育課程の年数や取得した学位の取扱い等、上記に該当するかどうか少しでも疑問や不明な点がある場合は、必ず個別審査期限前（「大学院入学試験要項（別冊）」20ページを参照）に本研究科の事務室（法学部事務室）に照会してください。

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前日の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

※大学院の授業内容を理解できる程度の日本語能力を必要とします。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
9月実施入学試験	2017年9月9日（土）	2017年7月28日（金）～2017年8月18日（金）
2月実施入学試験	2018年2月10日（土）	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

出願期間内に検定料を納入のうえ、所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、その他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	最終学校の成績証明書 および修了（見込）証明書		原本を提出すること
(3)	教育部学歴証書電子注冊備案表および教育部学籍在線驗証報告	<ul style="list-style-type: none">中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院を卒業（修了）した者は、教育部学歴証書電子注冊備案表（‘教育部学历证书电子注册备案表’）を印刷したもの中国（台湾、香港、マカオを除く）の大学または大学院に在学中の者は、教育部学籍在線驗証報告（‘教育部学籍在线验证报告’）を印刷したもの	どちらも証明書の言語表記は英文版のもの
(4)	受験科目届出書		LAW 1
(5)	調査書		LAW 2
(6)	日本語能力認定書		GS 4
(7)	立命館大学に留学を希望する理由	日本語で300字以上、自筆のこと。	A4用紙横書き
(8)	修士論文および同論文の概要ならびに研究テーマ・研究計画書	修士論文および同論文の概要：様式自由、A4用紙横書き、日本語2,000字程度 研究テーマ・研究計画書：日本語2,000字程度	研究テーマ・研究計画書： LAW 4
(9)	旅券の氏名・生年月日が記載された頁の写し	出願時に有効な旅券を所持している外国籍の方のみ	

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国内から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
- ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。

(2) 日本国外から出願する場合

- ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
- ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
電話 (075) 465-8175 (直通)

4. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類に記載する氏名・生年月日は、旅券の記載どおりに記入してください（出願時に有効な旅券を所持している者のみ）。
- (2) 一旦受理した書類は理由の如何にかかわらず返却しません。

V. 入学検定料

35,000円

※出願期間内に納入してください。

※納入は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Paypal、Alipayもしくは海外送金を利用してください。詳細は「大学院入学試験要項（別冊）」14ページを参照してください。

※本学大学院博士課程前期課程・修士課程または専門職学位課程を2017年9月修了（出願時に2017年9月修了見込みのものも含む）または2018年3月修了見込みのものが引き続いて博士課程後期課程に進学するために出願する場合は、入学検定料の納入は不要です。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

筆記試験および口頭試問を含む面接試験を総合評価し合格者を決定します。

筆記試験	論文	別表1の科目的うちから、入学後研究する専門科目を1科目選択	受験科目は届出制です。 判例・注解・解説等のない指定の六法全書（国際法については国際条約集）の持ち込みを認めますが、書き込み等のあるものは持ち込みを認めません（詳細は1ページを参照してください）。	120分
面接試験		修士論文またはそれに準ずるものの審査	学力考查としての口頭試問、日本語能力の試験を含む	30分

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	9：40～10：00	第1時限 10：00～12：00	第2時限 14：00～
2017年9月9日（土）	入室・説明	論文1科目	
2018年2月10日（土）			面接試験

※詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
9月実施入学試験	2017年9月22日（金）	14：00
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

2018年4月入学 法学研究科博士課程後期課程 学内進学入学試験

I. 募集する専攻、コース、課程、入学定員および募集人数

専攻	コース	課程	入学定員	募集人数
法学専攻	研究コース	博士課程後期課程	10名	若干名

入学定員は全入学試験方式の募集人数をあわせたものです。

出願状況および試験結果によっては、合格者数は募集人数を満たさない場合があります。

II. 出願資格

立命館大学大学院法学研究科博士課程前期課程研究コースを2018年3月修了見込みの者

※出願資格において「見込み」で受験し、合格した者が、その出願資格を入学前の2018年3月31日までに満たせない場合は、入学を許可しません（「見込み」のままで入学することはできません）。

III. 出願期間

	試験日	出願期間
2月実施入学試験	2018年2月初旬で個別に設定	2018年1月5日（金）～2018年1月19日（金）

※出願は出願書類の郵送に限ります。出願の受付期間は、出願締切日消印有効です。

IV. 出願方法

※出願上の注意は「大学院入学試験要項（別冊）」12ページを参照してください。

所定の出願書類を郵送してください。出願書類の一部は「Ritsu-Mate」での入力となります。「Ritsu-Mate」で入力した出願書類はプリントアウトし、他の出願書類とともに一括して郵送してください。

1. 出願書類

	書類名	内容	様式等
(1)	入学試験志願票	「Ritsu-Mate」で出願情報入力後にプリントアウトしたもの	
(2)	単位修得見込証明書		原本を提出すること
(3)	博士課程後期課程研究計画概要書（3部）	日本語4,000字以内	様式自由 A4用紙横書き
(4)	修士学位論文（3部）		

2. 出願書類の提出について

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) 日本国から出願する場合

①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。

- ②「Ritsu-Mate」から「宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
 ③②の「宛名ラベル」を①の封筒に貼付し、出願書類を一括して封入したうえで「簡易書留速達郵便」にて送付してください（郵便局窓口から送付すること。ポストへの投函不可）。
- (2) 日本国外から出願する場合
 ①市販の封筒（A4サイズの書類が入るもの）を用意してください。
 ②①の封筒に必要事項を記入のうえ出願書類を一括して封入し、国際スピード郵便（EMS）等、航空扱いの国際宅配便等配送状況を確認できる方法で送付してください。

3. 出願書類提出先

立命館大学 大学院入学試験 法学部事務室
 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
 電話 (075) 465-8175 (直通)

V. 入学検定料

入学検定料の納入は不要です。

VI. 受験票

受験票は試験日の約1週間前から「Ritsu-Mate」よりダウンロードできます。プリントアウトしたうえで試験当日に持参してください（「大学院入学試験要項（別冊）」11ページ参照）。

VII. 選考方法・試験科目

口頭試問	修士論文についての口頭試問（出願書類「博士課程後期課程研究計画概要書」についての口頭試問を含む）	30分
------	--	-----

VIII. 試験日・試験時間割

試験日	試験時間割
2018年2月初旬で個別に設定	個別に日程・時限を設定します

IX. 試験会場

立命館大学衣笠キャンパス（詳細は「Ritsu-Mate」にてお知らせします）

X. 合格発表

合否結果は「Ritsu-Mate」ならびに「大学院入試情報サイト」で発表します。また、合否結果および入学手続書類は、入学試験志願票に記載されている住所宛に合格発表日当日に発送します。

	合格発表日	発表時間
2月実施入学試験	2018年2月23日（金）	14:00

※「大学院入試情報サイト」上の合格者受験番号一覧の掲示については「大学院入学試験要項（別冊）」25ページを参照してください。

XI. 入学手続（案内）

「大学院入学試験要項（別冊）」26ページを参照してください。

出願書類の様式一覧・APPLICATION FORM LIST

様式は、つぎのページ以降に下表の順番通り綴りこんでいます。

提出すべき様式は、要項本文「出願書類」に入試方式ごとに定めていますので、要項本文をよく読み間違いのないよう提出してください。

Application forms are put after this page in the same order as the list below. Read thoroughly the required documents section of the examination that you will take and make sure to submit all the forms that are required.

様式		名称	ページ
GS	4	日本語能力認定書	63
LAW	1	受験科目届出書	65
	2	調査票	67
	3	志望理由書	69～70
	4	研究テーマ・研究計画書	71～72
	5	出願資格確認申請書<GPA 報告用紙>	73
	6-1	「出願資格を証明する書類」貼付用紙	75
	6-2	「客観的な成果を証明する資料」貼付用紙	77
	7-1	出願資格確認票<GPA 報告用紙>	79
	7-2	「客観的な成果を証明する資料」貼付用紙	81
	8	専門演習レポートの概要	83～84
	9	修士論文の概要	85～86
	10	指導教員の推薦書【任意】	87

日本語能力認定書

志願者氏名：_____

住 所：_____

日本語講師、日本政府在外公館員または適當な方に記入を依頼し、厳封のこと。

	優	良	可	不可
話す力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
聞く力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
書く力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
読む力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注：日本語での修学を前提として、熟達程度の
該当箇所にチェックしてください。

評価基準

優 — 日本における日常生活、大学での勉学ともに充分にこなせる能力を有する。

良 — 半年未満の今後の指導で、優レベルの能力を有する可能性がある。

可 — 一年未満の今後の指導で、優レベルの能力を有する可能性がある。

不可 — 初歩的な能力であり、長期に渡る充分な指導が必要である。

方法：_____

使用した教科書：_____

備考：_____

【記入者】所属：_____

役職：_____

氏名：_____

住所：_____

署名：_____

日付：_____

立命館大学
Ritsumeikan University

受験科目届出書

【自筆限定】

入試方式	一般 学内進学 飛び級	社会人（一般） 学内進学（経営学研究科との大学院教育相互協力にもとづく入試） 一般（法務博士用）	社会人（有資格者） 一般（司法試験合格者）	外国人留学生 社会人
博士課程	前期課程	後期課程	氏名 ----- -----	ふりがな ----- -----
コース	研究コース 公務行政コース	リーガル・スペシャリスト・コース 法政リサーチ・コース		
受験番号	※			
出身校 (卒業、修了見込を含む)	(学士、修士)			
出身校の卒業論文テーマ または演習の（論文）テーマ				

入試要項の「VII. 選考方法・試験科目」欄を参照して、下記別表1または別表2から科目を選択し、該当する記入欄に明記してください。

・ 前期課程

入学後主として研究する科目

随意選択科目

外国語

・ 後期課程（一般入学試験）

外国語

外國語または入学後研究する専門科目

・ 後期課程（一般入学試験（法務博士用））

入学後研究する専門科目

随意選択科目または外国語

・ 後期課程（一般入学試験（司法試験合格者）・社会人入学試験・外国人留学生入学試験）

入学後研究する専門科目

別表1

法哲学、法史学、法社会学、憲法、行政法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、民事訴訟法、商法、労働法、社会保障法、経済法、国際法、国際私法、知的財産法、政治学、政治史、政治思想史、国際政治論、行政学

別表2

英語、ドイツ語、フランス語

- [注] 1. 入試方式、博士課程、コースの該当するものに○印をしてください（※欄は記入しないでください）。
2. 入学後主として研究する科目と随意に選択する科目は、同一科目であってはなりません。
3. 前期課程を志望する者は、入試方式および出願コースにより、必要な受験科目を届け出してください。

調査票

【自筆限定】

入試方式	一般 学内進学 飛び級	社会人（一般） 学内進学（経営学研究科との大学院教育相互協力にもとづく入試） 一般（法務博士用）	社会人（有資格者） 一般（司法試験合格者）	外国人留学生 社会人
博士課程	前期課程	後期課程	氏名	ふりがな
コース	研究コース 公務行政コース	リーガル・スペシャリスト・コース 法政リサーチ・コース		
受験番号	※			
学歴		年月	大学 大学院	学部卒業・卒業見込み 修了・修了見込み
職歴		年月 年月 年月 年月 年月		
大学院進学の動機				
将来の志望				
大学院で研究したい 分野・テーマ		(入学後研究する専門科目：)		
指導を希望する教員 (後期課程志願者のみ記入)				
学費および生活費の負担者 (○印)		父母	本人	奨学金
大学時代の 課外サークル活動				
健 康 状 態				

- [注] 1. ※欄は記入しないでください。
 2. 入試方式、博士課程、コースの該当するものに○印を付してください。

志望理由書

[作成上の注意]

- I. 自筆で1,000字以内にまとめてください。
II. つぎの3点について記入してください。

- ①大学院への志望動機
②志望するコースとその理由
③入学後の目標と抱負

【自筆限定】

志望するコース :

氏名 :

記入欄

研究テーマ・研究計画書

【自筆限定】

受験番号※	該当区分に○印 前期課程・後期課程	ふりがな 氏 名
志望するコース		
研究テーマ		
指導を希望する教員 (後期課程志願者のみ記入)		
研究テーマ・計画書		
→		

※欄には記入しないでください。

博士課程前期課程 学内進学入学試験

出願資格確認申請書<GPA報告用紙>

【自筆限定】

受験番号※	法学専攻 博士課程前期課程 ・研究コース ・リーガル・スペシャリスト・コース ・公務行政コース ・法政リサーチ・コース	学生証番号	
		フリガナ	
		氏名	

コース	出願する資格に○印	出願資格（詳細は要項で確認すること）	
研究コース		A : 3回生までの総取得単位が 100 単位以上で GPA が 3.70 以上かつ必修外国語 A 評価以上の科目が 5 科目以上	*1 記入
		B : 法学部 3 回生早期卒業候補者で、かつ必修外国語 A 評価以上の科目が 5 科目以上	
リーガル・スペシャリスト・コース		①3回生までの総取得単位が 90 単位以上で GPA が 2.90 以上	*1 記入
		②本人申告の 3回生時の法学部専門科目 20 単位分の GPA が 3.30 以上 (法学部 4回生のみ)	*2 記入
		③TOEFL iBT® テスト 61 点以上 TOEIC® LISTENING AND READING テスト 600 点以上、英検準 1 級以上の英語学力を有すること	
		④弁理士試験短答式試験合格者	
		⑤公認会計士試験短答式試験合格者	
		⑥税理士試験 1 科目以上合格者	
		⑦司法書士試験合格者	
		⑧不動産鑑定士試験短答式試験合格者	
		⑨3回生早期卒業候補者	

*1 研究コース出願資格 A、およびリーガル・スペシャリスト・コース、公務行政コース、法政リサーチ・コース出願資格
 ①に該当する者は記入すること（3回生終了時の成績通知表で確認すること）

3回生までの総取得単位数（教職・随意科目除く）_____

3回生まで累積 GPA : _____

*2 研究コース以外のコースで出願資格②（3回生時に履修した法学部専門科目 20 単位分の GPA が 3.30 以上）に該当する者は、下記に科目名・単位数・評価を記入し、GPA 値を記入すること（小数点以下第 3 位を四捨五入）。

	科目名	単位数	成績評価		科目名	単位数	成績評価
1				9			
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8							

G P A 値 : _____

「出願資格を証明する書類」貼付用紙

【自筆限定】

入試区分	学内進学入試		
博士課程	前期課程	氏名	ふりがな
コース	リーガル・スペシャリスト・コース 公務行政コース・法政リサーチ・コース		
受験番号	※		

- [注] 1.※欄は記入しないでください。
 2.コースの該当するものに○印を付してください。

以下の出願資格で出願する場合は、該当する番号に○印を付し、合格通知の写し等合格したことを証明できるものを貼付してください。

① 【立命館大学各学部4回生のみ】

TOEFL iBT®テスト 61点以上、TOEIC® LISTENING AND READING テスト 600点以上、または実用英語技能検定（英検）準1級以上の英語学力を有する者

- ② 弁理士試験短答式試験に合格者した者
- ③ 公認会計士試験短答式試験に合格者した者
- ④ 税理士試験1科目以上に合格者した者
- ⑤ 司法書士試験合格者に合格者した者
- ⑥ 不動産鑑定士試験短答式試験に合格者した者

書類貼付欄

「客観的な成果を証明する資料」貼付用紙

各種取り組みにおける受賞実績、資格および資格試験などの客観的な成果を証明する資料があれば貼付してください。

貼付欄

出願資格確認票<GPA報告用紙>

【自筆限定】

学生証番号			
出願する コースに○		リーガル・スペシャリスト・コース	ふりがな ----- 氏名
		公務行政コース	
		法政リサーチ・コース	
受験番号	※		

I. 出願資格

該当する資格に○をしてください。

(1) 3回生前期終了時点の累積GPAが3.60以上の者
(2) 3回生終了時点の累積GPAが3.60以上の者
(3) 本人申告の法学部専門科30単位分のGPAが3.90以上の者
(4) 必修外国語の累積GPAが4.50以上の者

※3回生終了時点での総修得単位数（教職・随意科目を除く）が92単位以上であるとともに、上記出願資格(1)～(4)のいずれかを満たすこと。かつ、出願資格(1)の場合は、3回生前期終了時点での総取得単位数（教職・随意科目をのぞく）が84単位以上であること。

II. 出願資格ごとの注意事項

1. 出願資格(1)の場合、右に累積GPAを記入してください。 累積GPA=

--

2. 出願資格(3)の場合、下記の申告表に記載してください。

科目名	取得回生	単位数	評価

GPA値：_____

「客観的な成果を証明する資料」貼付用紙

下記内容に相当する資料があれば貼付してください。

法律討論会入賞、懸賞論文入選、資格および資格試験など

貼付欄

専門演習レポートの概要

【自筆限定】(専門演習受講者のみ提出)

博士課程	前期課程		
コース	リーガル・スペシャリスト・コース 公務行政コース 法政リサーチ・コース	氏 名	ふりがな
受験番号	※		

【作成上の注意】

3回生時の学部での専門演習レポートを自筆で1,000字以内にまとめてください。

指導教員名：_____

専門演習のテーマ：_____

専門演習レポートの概要

(This section contains 20 blank lines for writing the report summary.)

- [注] 1. ※欄は記入しないでください
2. コースの該当するものに○印を付してください。

2018.4

学内進学入学試験（経営学研究科との大学院教育相互協力にもとづく入学試験）

修士論文の概要

【自筆限定】

受験番号 ※	法学専攻 博士課程前期課程 リーガル・スペシャリスト・コース	氏名
-----------	-----------------------------------	----

[作成上の注意]

自筆で1,000字以内にまとめてください。

指導教員名：_____

修士論文のテーマ：_____

修士論文の概要

指導教員の推薦書【任意】

大学	学部	卒業	卒業見込
大学院	研究科	年	月修了・修了見込
記入欄			
推薦所属機関・職名・氏名		本人との関係	
印			

[注] 1. 本人の学習姿勢、学習内容上の特徴、大学院進学後の研究の進展に関する資料等についてなるべく具体的にご記入のうえ、厳封してください。

2. パソコン・ワープロなどで作成したものを貼り付けても構いません。

